

国道8号 魚津滑川バイパス

全線4車線にて開通！

平成28年 2月28日(日)開通!!



国道8号魚津滑川バイパス
(魚津市住吉～滑川市稲泉)全線4車線化！

【魚津滑川バイパスの開通により期待される主な効果】

効果①：ボトルネックの解消により主要渋滞箇所の渋滞が緩和

富山県の交通の大動脈、国道8号のボトルネックが解消します。

効果②：企業活動支援によるストック効果の発現に期待

物流の効率化によって企業活動を支援し、沿線地域の産業活性化に貢献します。

魚津滑川バイパス



国土交通省 北陸地方整備局

富山河川国道事務所 Tel:076-443-4701(代)

〒930-0837 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

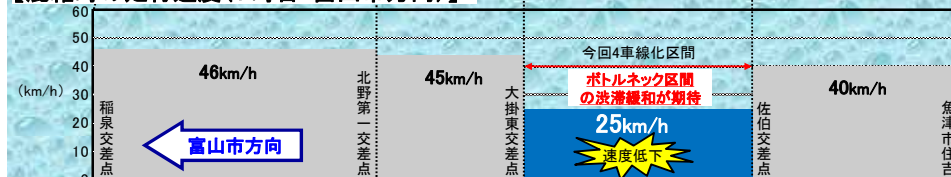
国道8号魚津滑川バイパス開通による効果

効果①:ボトルネックの解消により主要渋滞箇所の渋滞が緩和

・ボトルネックとなっていた魚津滑川バイパスの佐伯～大掛東区間が4車線化することにより、2つの主要渋滞箇所(佐伯交差点、大掛東交差点)の渋滞が緩和されます。

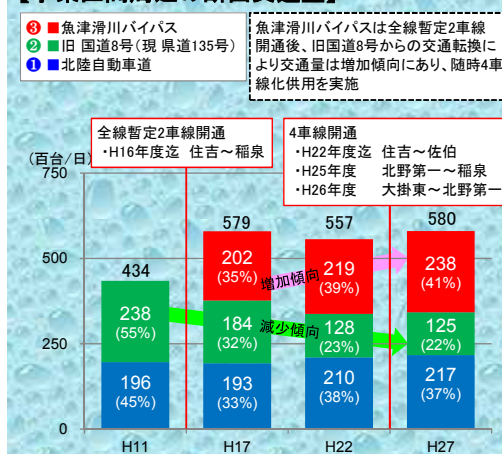


【混雑時の走行速度(7時台・富山市方向)】

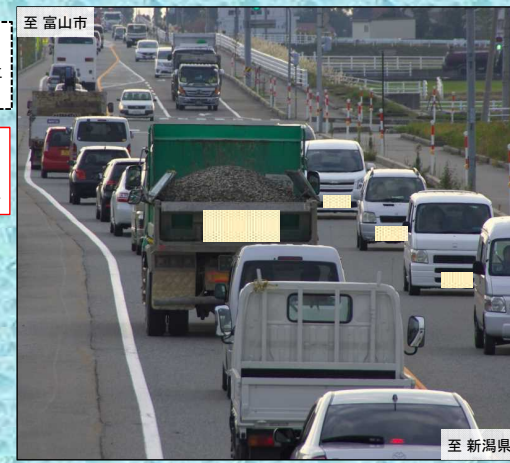


※プローブデータ (H27.7-9平日平均時間帯別旅行速度)

【事業区間周辺の断面交通量】



※S63～H22:道路交通センサス、H27:道路交通量調査結果 (H27.10.6)
北陸自動車道はNEXCO日本提供



大掛東交差点の渋滞状況

国道8号魚津滑川バイパス開通による効果

効果②:企業活動を支援し、更なるストック効果の発現に期待

- ・ 魚津滑川バイパス沿線には、多くの企業が立地し、これまでの国道8号の開通によって、企業立地や企業活動の活性化を支援してきました。
- ・ 今回の魚津滑川バイパスの全線開通により、物流効率化や安全性の向上など、企業活動を支援することで、沿線地域での更なるストック効果の発現が期待されます。



魚津滑川バイパス沿線の企業立地状況

【国道8号沿線企業の声】

企業①:自動車部品工場

・昭和59年に将来の魚津滑川バイパスの建設を見越して進出しました。



企業②:運送会社

・4車線になることで安全性が格段に向上し乗務員のストレスが減少します。
・バイパスは見通しが良く、遠目から信号が確認でき、安全に運転が出来ます。



※ 物流ルートとして魚津滑川バイパスを利用



※ 企業にアライン調査により確認 (H27.12実施)

企業③:印刷機器メーカー

・通勤時、国道8号佐伯交差点で混んでいるので、4車線となればスムーズに通行できます。



企業④:アルミサッシ製造業

・路面が悪いと製品出荷時にガラスが破損する恐れがあり、道路状況のよい国道8号を選択します。
・伏木富山港から滑川工場まで、国道8号が整備されるにつれ、定時性が確保されるようになりました。



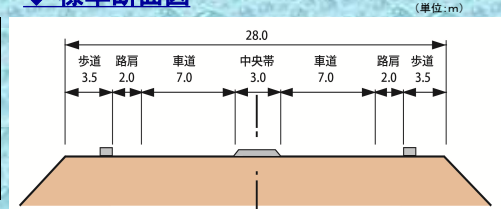
国道8号魚津滑川バイパスの事業概要

◆ 事業目的 ◎ 幹線ネットワークの充実強化 ◎ 交通渋滞の緩和 ◎ 死傷事故の減少

◆ 計画諸元

事業区間	魚津市住吉～滑川市稲泉
延長	L=7.4km
道路の区分	第3種1級
設計速度	80km/h
道路幅員	28.0m (3.5+2.0+7.0+3.0+7.0+2.0+3.5)

◆ 標準断面図



◆ 事業の経緯

調査開始	昭和58年度	都市計画決定	平成元年度		
事業化	平成元年度	用地着手	平成4年度	工事着手	平成5年度
開通状況	平成15年度迄	全線暫定2車線開通(魚津市住吉～滑川市稲泉) 延長 7.4km			
	平成22年度迄	完成4車線開通(魚津市住吉～魚津市佐伯) 延長 1.6km			
	平成25年度	完成4車線開通(滑川市北野～稲泉) 延長 2.1km			
	平成26年度	完成4車線開通(滑川市大掛～北野) 延長 1.4km			



参考

- ・ 魚津滑川バイパスは県東部-西部を結ぶ大動脈の一部を形成。
- ・ 今回の4車線化により国道8号バイパスの延長約50kmが4車線化区間となります。

※4車線化区間
魚津市江口～高岡市柴野内島

